

2020年度日本写真学会 学会賞受賞者 【速報】

本学会は、わが国写真界、あるいは写真およびそれに関連する分野の科学技術の進歩・発展、そして本学会運営に貢献された方々に学会賞を贈り、表彰してまいりました。

今年度も、各賞候補者を募集し、2月に実施しました学会賞選考委員会にて審査を行い、受賞者が決定しました。

受賞式：本年6月3—5日に京都工芸繊維大学にて実施予定の画像関連学会連合会第7回春季大会の中で実施の予定です。

受賞講演；上記の画像関連学会連合会第7回春季大会および秋の国際会議等での講演を頂く予定です。

学会誌への掲載；学会誌81巻3号への掲載を予定しております。

功績賞	岩崎仁氏（京都工芸繊維大学） 「長年にわたり写真および関連する分野の科学技術の振興または日本写真学会の発展につくされた功績」
学術賞	白石幸英氏（山陽小野田市立山口東京理科大学） 「複合銀コロイド粒子の創製と応用に関する研究」
技術賞	新田和馬氏・一谷修司氏・将積直樹氏（コニカミノルタ株式会社） 「画像処理技術による行動検知を活用したケアサポートシステムの商品化」
技術賞	佐藤裕之氏・藤屋隆明氏（株式会社リコー）・鳥海裕二氏（リコーイメージング株式会社） 「3回屈曲魚眼光学系を用いた全天球カメラ「RICOH THETA Z1」」
論文賞	久下謙一氏・安達考洋氏（千葉大学）、梅本篤氏・中竜大氏（東邦大学）・小平聡氏（量子科学技術研究機構放射線医学総合研究所） 「局在表面プラズモン共鳴を用いた光学顕微鏡による微細放射線飛跡解析法」
進歩賞	梅本篤宏氏（名古屋大学） 「局在表面プラズモン共鳴を用いた超解像イメージング技術の開発」
進歩賞	宮本成悟氏（東京大学） 「原子核乾板を用いたミュオンラジオグラフィーによる火山内部構造の研究」
東陽賞	矢口博久氏（千葉大学） 「写真の世界への視覚の知識普及への貢献」

コニカミノルタ科学技術振興 財団研究奨励金	岩本康平氏（元セイコーエプソン） 「文化財写真（世界遺産）の超精密デジタル画像復元に関する材料・システムの研究」
小島裕研究奨励金	白石 卓也 氏（東邦大学） 「暗黒物質探索のためのナノイメージングトラッカーにおける AgBr:I 超ナノ微粒子の発光物性研究」